多文化共修 in ジョージア（2 月）

ジョージアにおける日本留学促進

活動概要

文部科学省が実施している「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業」は、在外公館や関係機関、企業との連携しつつ、留学フェアや学校訪問等を行い、学生のリクルートや帰国後のフォローアップまでを一体的に促進する日本留学サポート体制の強化を図るなど、現地の実情に合わせた効果的なリクルーティング活動を展開しています。事業では世界の各地域を担当する拠点大学を選定し、拠点大学は日本の大学を代表して日本への留学促進に関わる活動を積極的に推進しています。本学は CIS（中央アジア・コーカサス）地域を受託しており、2026 年 5 月にはジョージア・イリア国立大学にリエゾンオフィスを設置し、そして 2027 年 2 月 13 日にはコーカサス地域で初の日本留学フェアを開催する計画があります。

この度、多文化共修の一環として、本学のオフィスが設置されているイリア国立大学の学生とともにジョージアにおける日本の大学への海外留学を対象課題とし、課題解決案提案に関するディスカッションを行い、また日本留学フェアでの日本文化・日本事情の紹介を行います。また、トビリシ国立大、トビリシ自由大、バトゥミ国立大（いずれも本学協定校）で学生交流を行うほか、クタイシでは現地学校等への訪問または現地住民との交流イベントを行うことで、コーカサス地域での日本留学への機運の醸成を目指します。

日程

2027 年（下記はいずれも予定です）

2 月上旬　事前学習

2 月 11 日　トビリシ国立大、トビリシ自由大訪問

2 月 12 日　イリア大にて留学フェア準備

2 月 13 日　留学フェア参加。学生・留学希望者との交流、日本文化紹介

2 月 14 日　クタイシへ移動、学校訪問・交流

2 月 15 日　バトゥミへ移動

2 月 16 日　バトゥミ大訪問

2 月 17 日　バトゥミ視察

2 月 22 日　事後学習

＊　トビリシでの現地集合・バトゥミでの解散を基本とします。

* 海外経験等が浅く不安な人は、引率者と同じ便での渡航、同じ宿泊先にするなど、フォローします。参加者確定後、一度集まって旅行の相談を行う日を設ける予定です。

参加条件

事前・事後学習を含め、全日程に参加できること

対象

筑波大学に正規在学している学生・院生

費用

［参加者が支払うもの］

* 航空券 20~30 万円
* 宿泊費（1 泊 5,000~10,000 円程度）
* 現地滞在費（食費、現地交通費など）
* 海外旅行保険、OSSMA

［研修の費用から支払う予定のもの］

* トビリシ・クタイシ・バトゥミ間の交通費（バス借り上げの予定）

参加者ははばたけ奨学金への応募が可能です（採用の場合 15 万円支給）。

定員・選考

定員 15 名。募集多数の場合、選考を行う。
選考に際しては、比較文化学類の学生を優先する。

参加申し込み

11 月 20 日（金）17 時までに以下のフォームからお申し込みください（大学のアカウントが必要です）。

ジョージアにおける日本留学促進



実施責任者・問合せ先

五月女 颯
sotome.hayate.ga@u.tsukuba.ac.jp
五月女　颯（Teams チャット）